

2016年3月期 第3四半期決算概要

2016年2月9日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証第一部)

第3四半期 決算ハイライト

中国経済成長の減速による市場環境の悪化が3Qより顕在化しているものの、売上高、営業利益ともに連結ベースで前年同期を上回ることが出来た。

売上	連結	連結売上高は、前年同期比108%、21億円増の274億円となった。
	日本	自動車、精密機器が堅調に推移したほか、食品・飲料関連が大きく伸長し、前年同期比102%の115億円となった。
	中国	3Qより自動車等で減速感が顕在化しているものの、3Q累計(1-9月)では、前年同期比114%の134億円となった。
	その他	2Qから引き続き、欧州、シンガポール、ベトナムは好調を維持、加えて米州、タイが堅調に推移し、前年同期比112%の24億円となった。
利益		研究開発投資等による販管費の増加はあったものの、売上が増加したことによる利益増の効果もあり、営業利益は前年同期比103%の15億円となった。人民元切下げによる外貨建て親子ローンの評価損等の為替の影響もあり、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に届かなかった。
ネット資金		親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、期首から7億円改善した。



決算概況

売上高、営業利益ともに前年同期実績をクリア。

(単位:百万円)

	2015年3月期 第3四半期累計		2016年3月期 第3四半期累計		前年同期差	前年同期比
売上高		25,315		27,458	2,142	108.5%
営業利益	5.9%	1,496	5.6%	1,550	54	103.6%
経常利益	5.5%	1,402	4.8%	1,304	▲98	93.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	4.3%	1,080	3.3%	915	▲165	84.7%

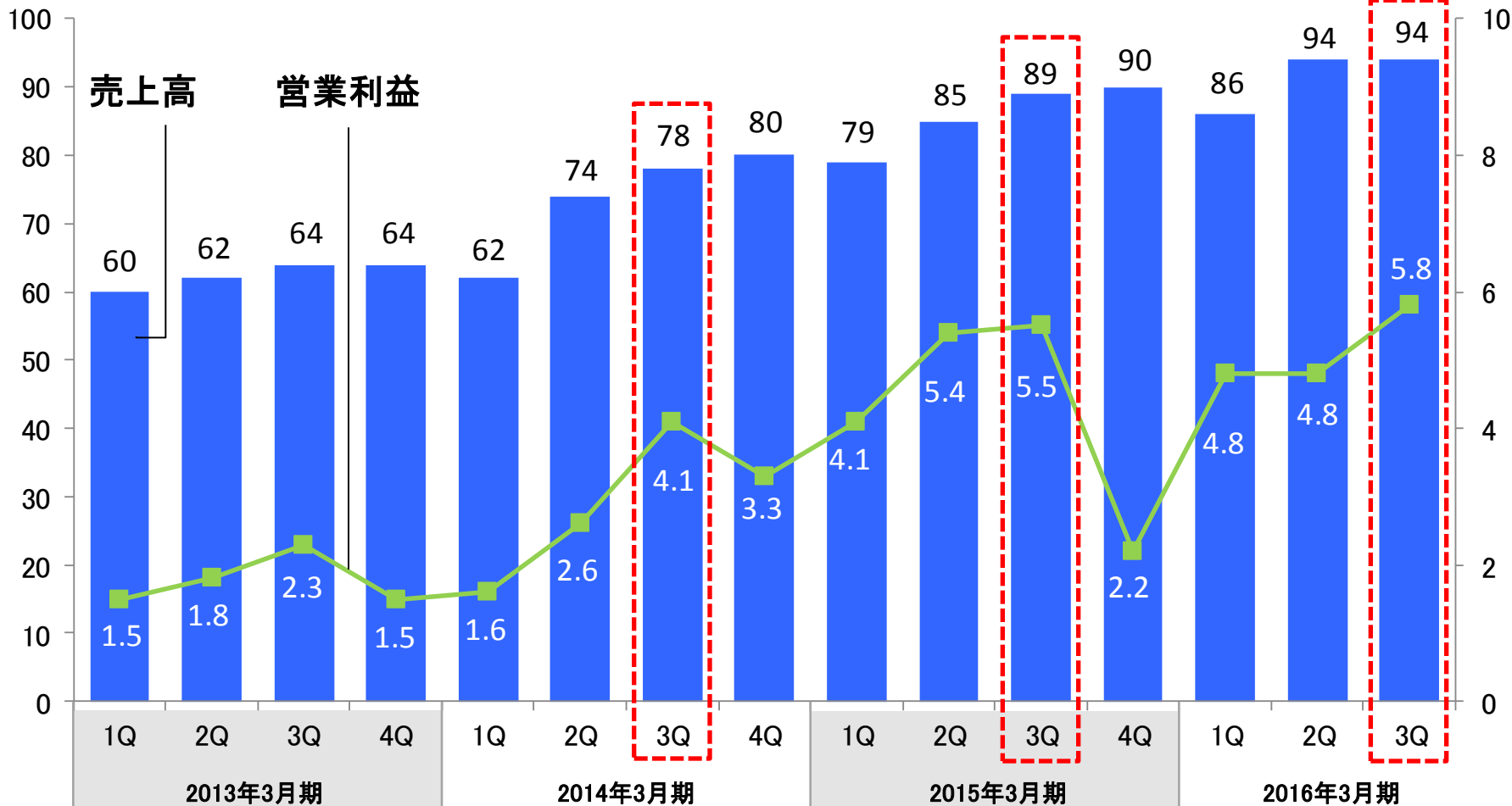


売上高と営業利益の推移

2Qに引き続き、売上高は最高水準を維持、
営業利益は過去最高を更新。

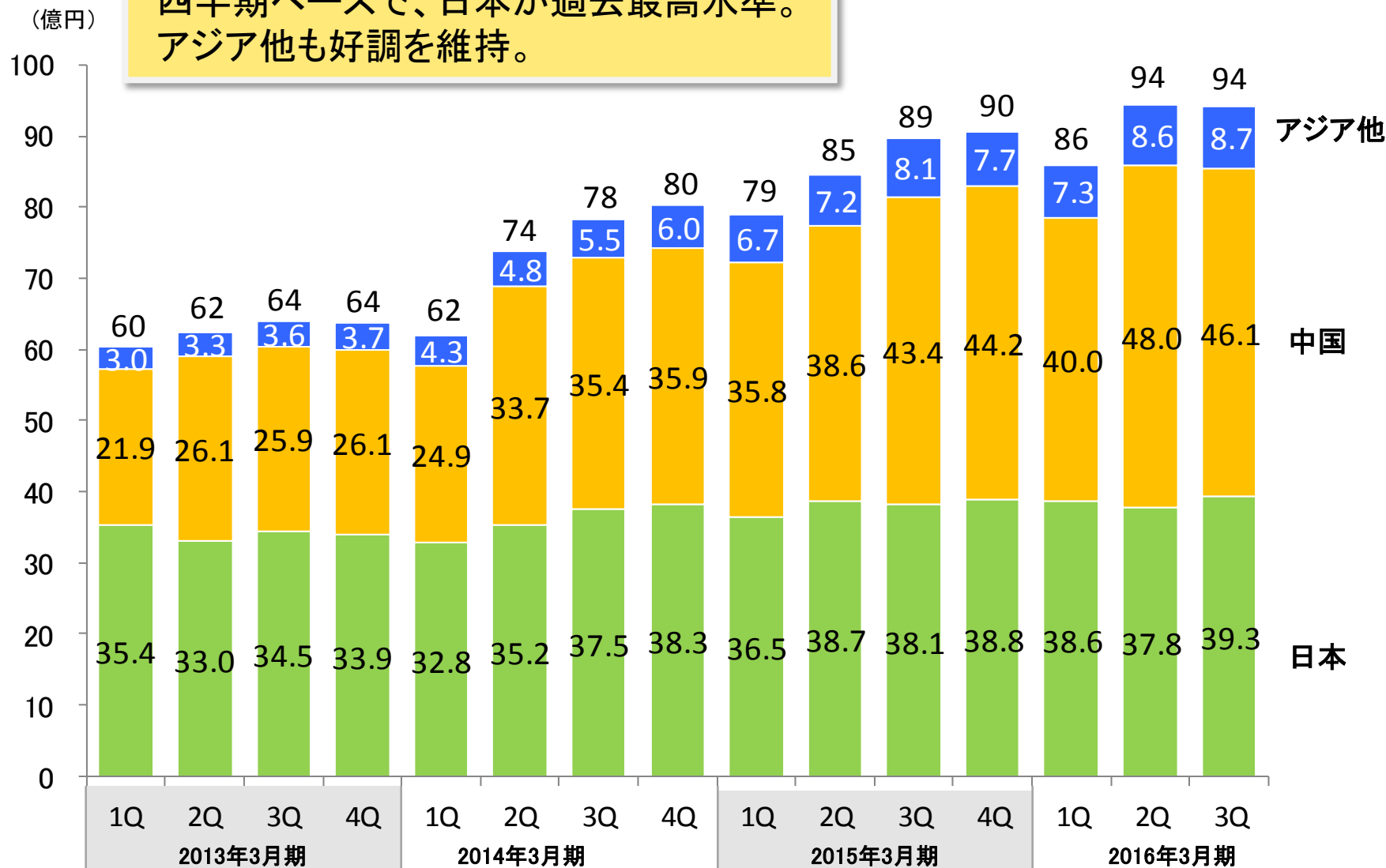
売上高
(億円)

営業利益
(億円)



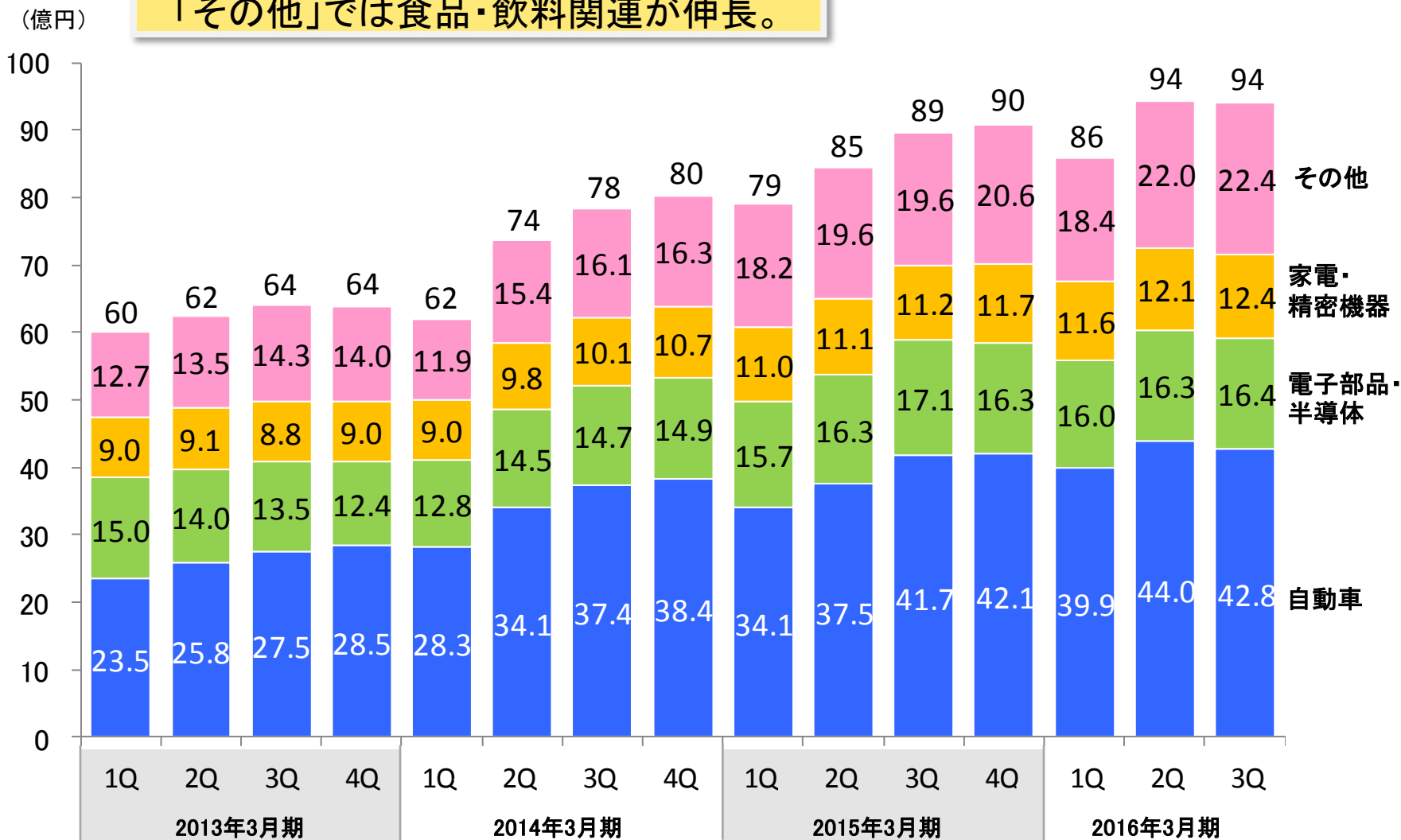
地域別売上高

四半期ベースで、日本が過去最高水準。
アジア他も好調を維持。



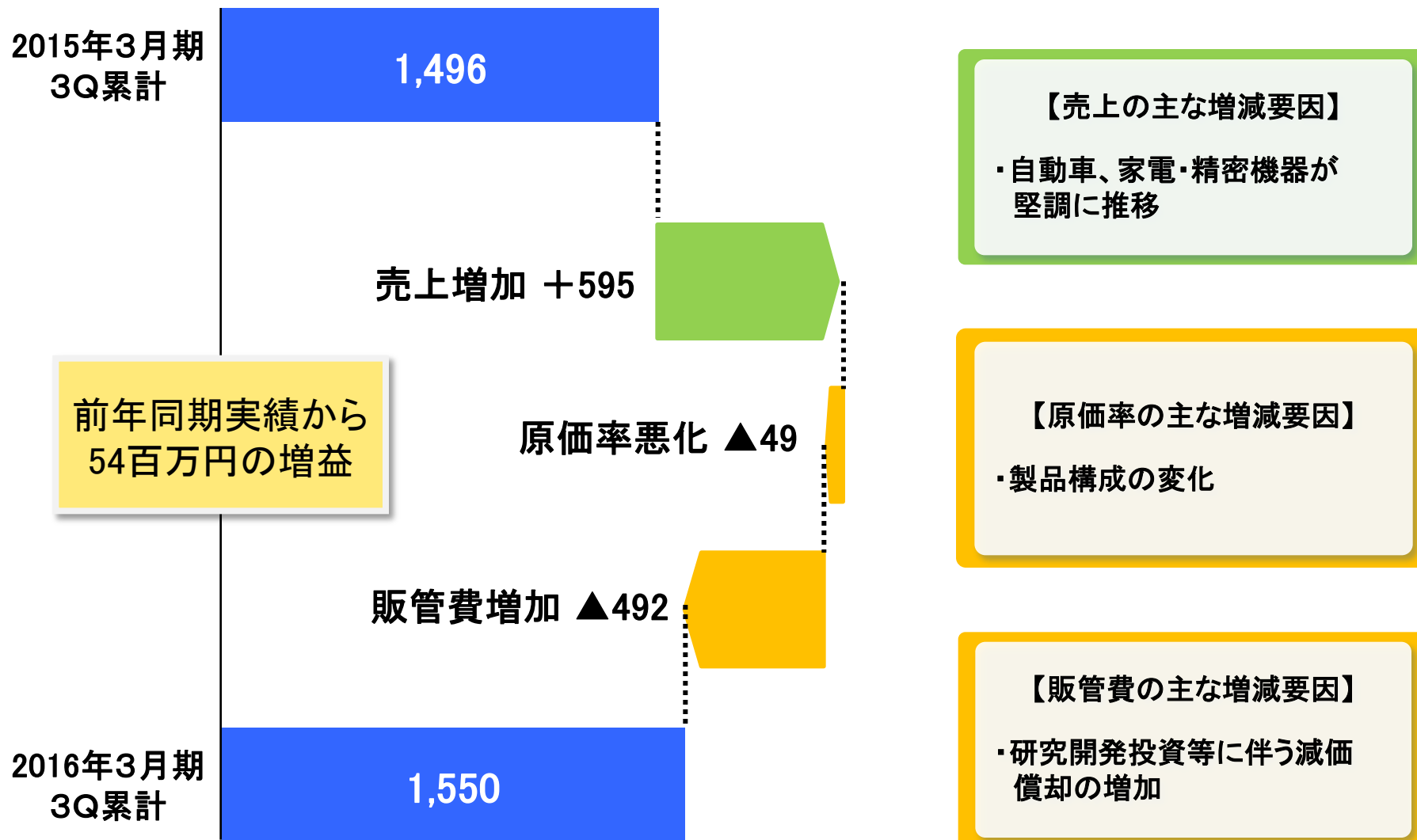
業種別売上高

家電・精密機器が堅調に推移。
「その他」では食品・飲料関連が伸長。



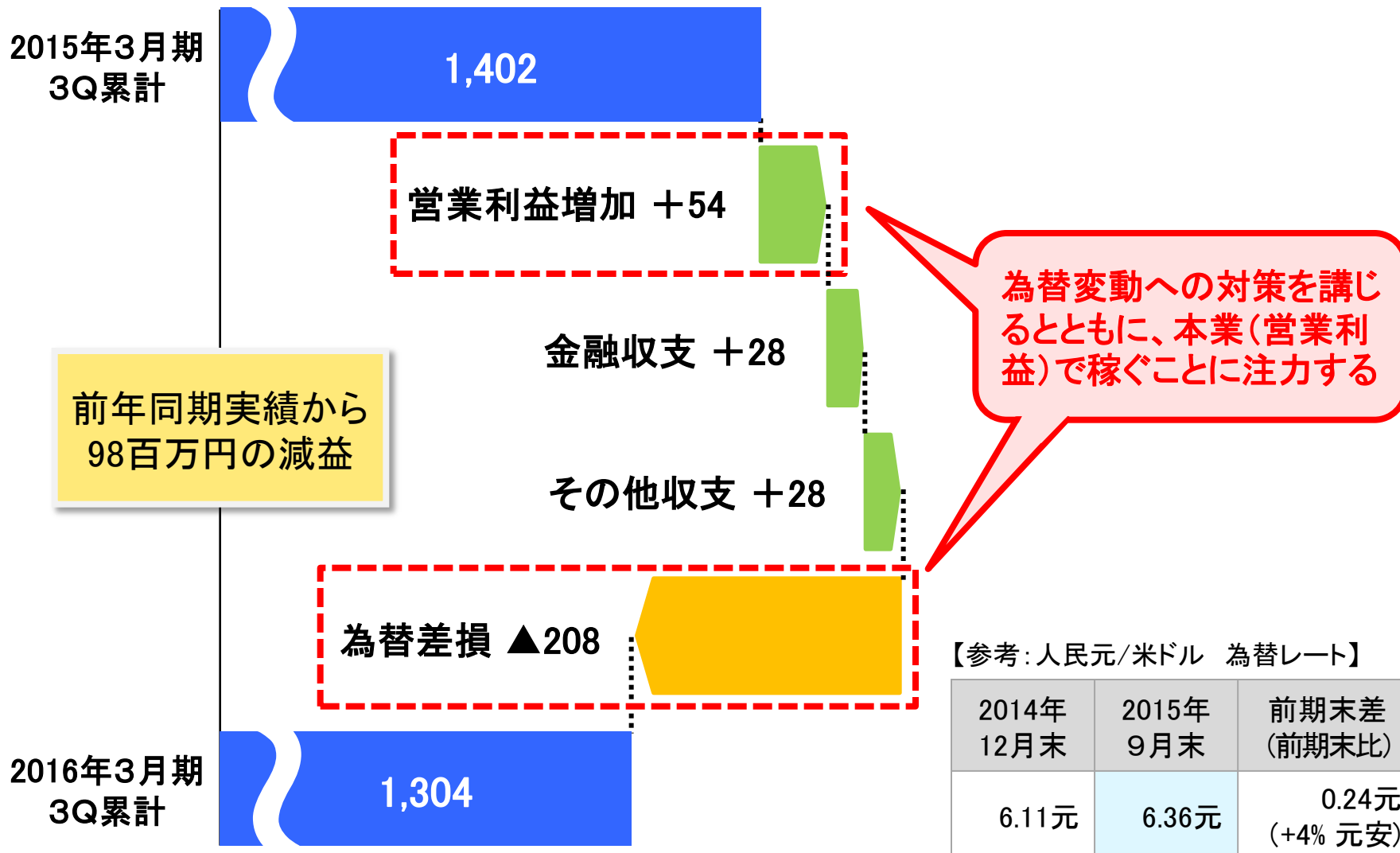
営業利益増減

(単位:百万円)



経常利益増減

(単位:百万円)



財務状況

(単位:百万円)

	2015年3月期末	2016年3月期 第3四半期末	比較増減
総資産	29,623	27,150	▲2,473
総負債	15,418	13,001	▲2,416
うち有利子負債	7,155	6,084	▲1,071
純資産	14,205	14,148	▲57
ネット資金	▲3,853	▲3,147	706
自己資本比率	47.9%	52.1%	4.2ポイント

	2015年3月期 第3四半期累計	2016年3月期 第3四半期累計	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	943	867	▲76
減価償却費(無形固定資産含む)	956	1,067	110



2016年3月期 業績及び配当の予想

(単位:百万円)

	2015年3月期 (実績)		2016年3月期 (予想)		前年差	前年比
売上高		34,392		37,000	2,607	107.6%
営業利益	5.0%	1,724	5.4%	2,000	275	116.0%
経常利益	4.7%	1,617	5.1%	1,900	282	117.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3.5%	1,188	3.5%	1,300	111	109.4%
自己資本利益率 (ROE)		10.1%		8.8%	▲1.3ポイント	

**2016年3月期
配当**

中間配当金12円50銭を実施

年間配当金25円を予定



参考資料



会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都港区港南二丁目12番23号
設立	1975年3月
資本金	28億9,773万円
従業員数	3,811名(グループ連結、2015年12月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弹簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD.(マレーシア・クアラルンプール)※ PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PUNCH INDUSTRY MANUFACTURING VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア)

※PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD. は、PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.に事業を移管したため、清算手続中であります。



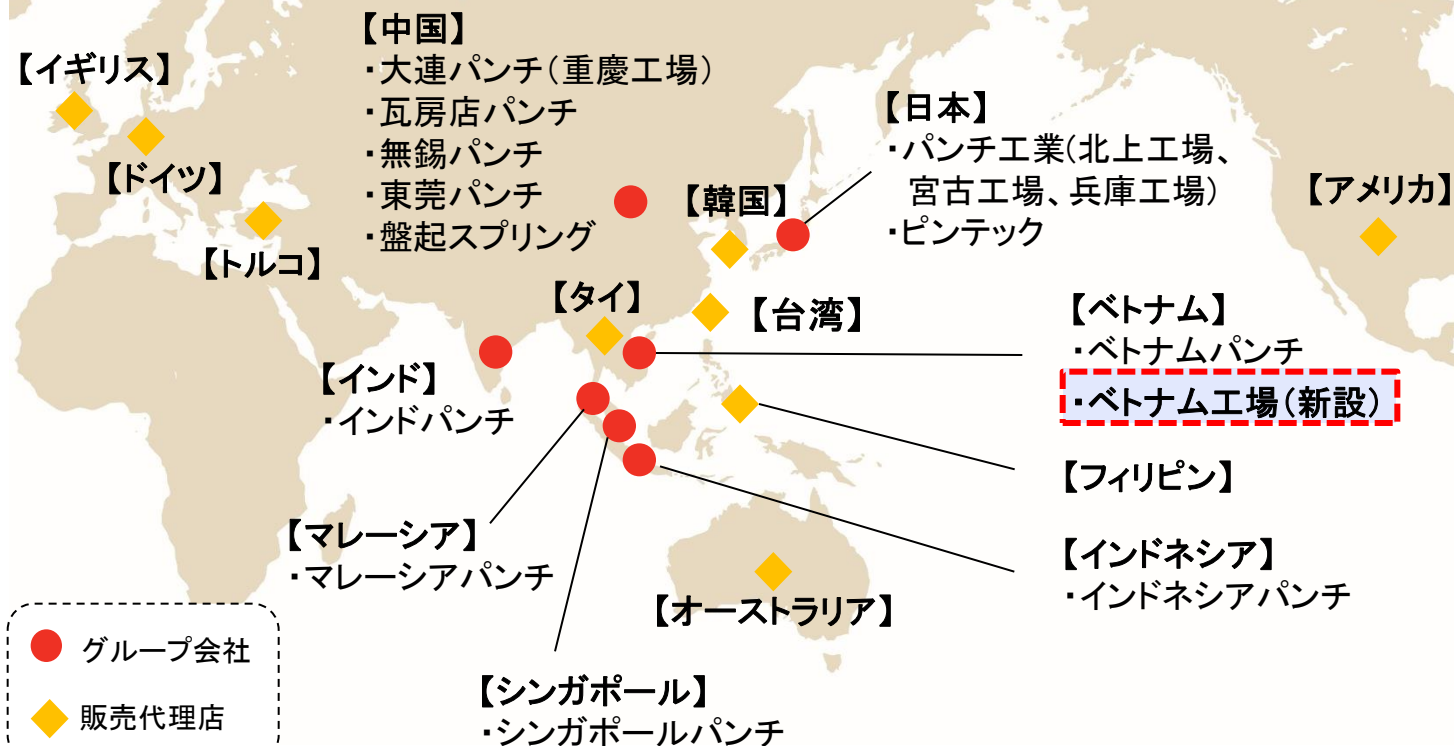
パンチグループのネットワーク

生産拠点数

日本	海外
4	8
カ所	カ所

販売拠点数

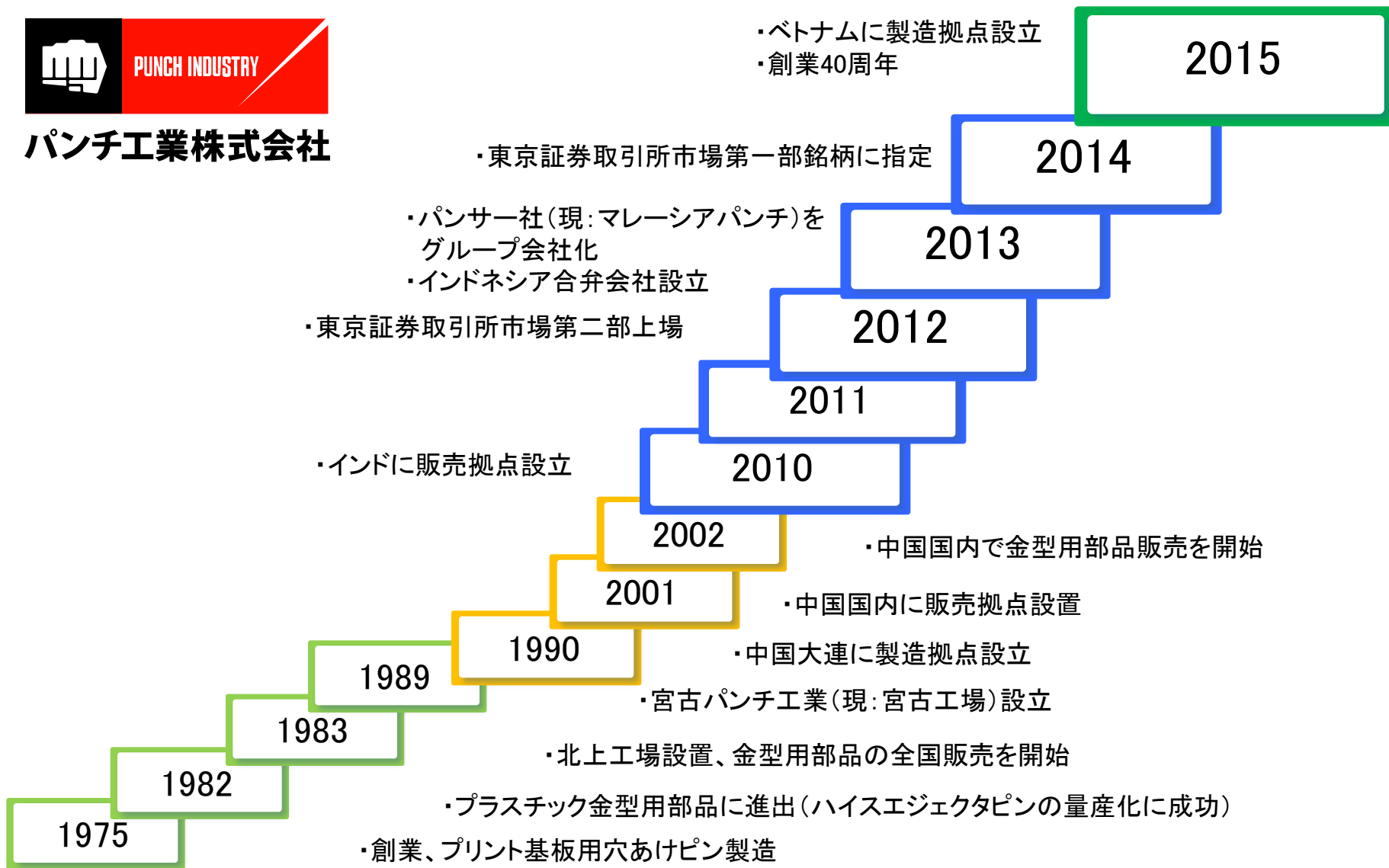
日本	海外
15	38
カ所	カ所



沿革

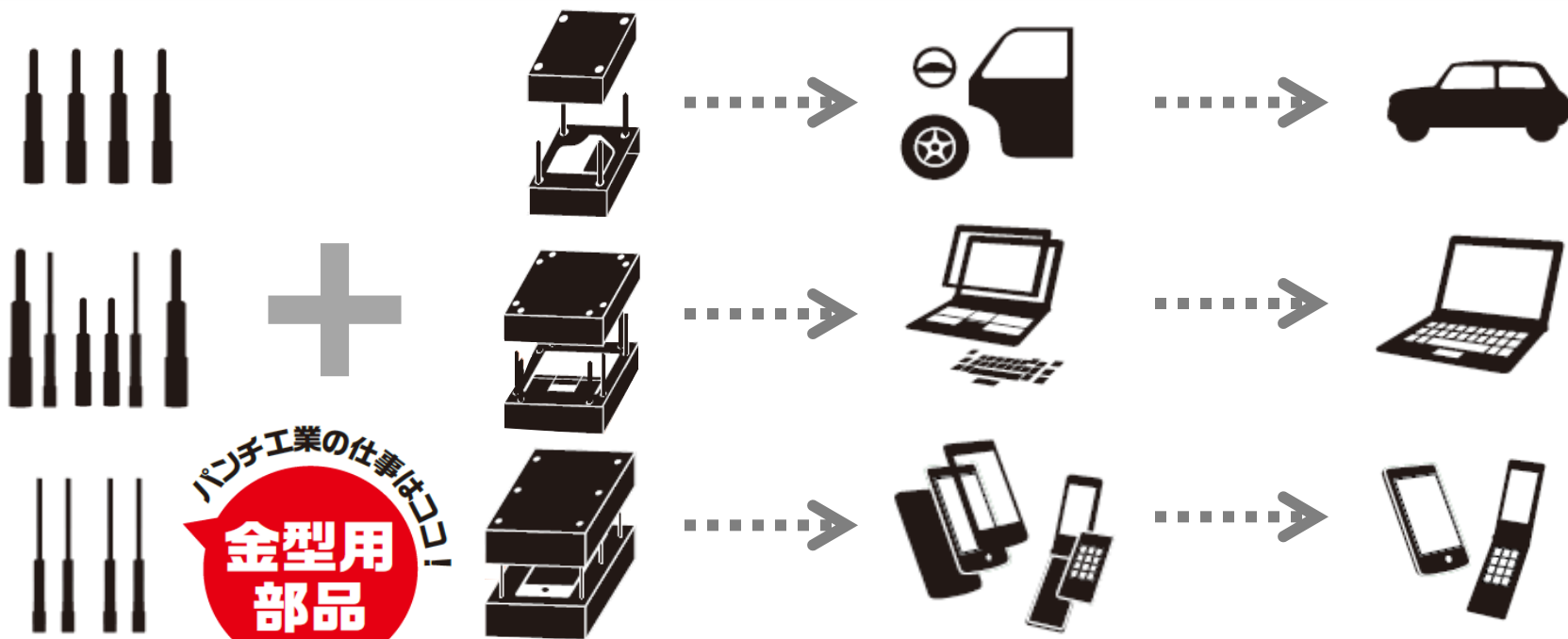


パンチ工業株式会社



事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売



たとえばこんな部品



金型

構成部品を速く、均一に、大量につくるための金属でできた「型」

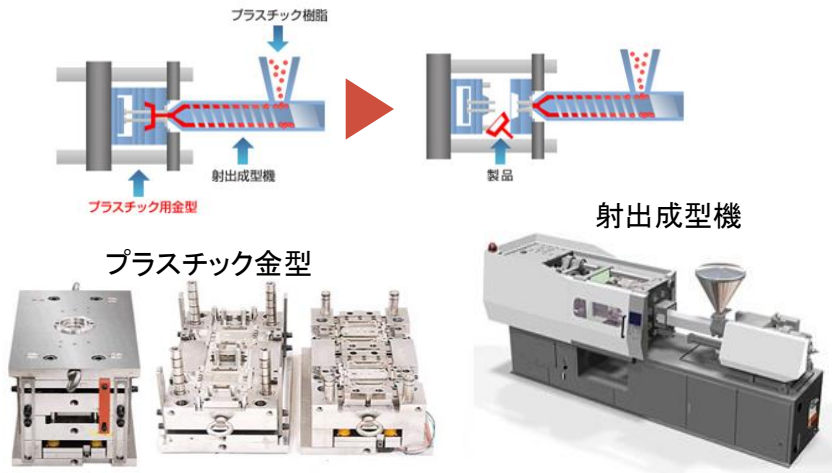
構成部品

製品を構成するために必要となるパーツ

製品

自動車や家電など私たちが身近で使うさまざまな製品

プラスチック金型と金型用部品



エジェクタピン



スプルーブシュ・ロケートリング

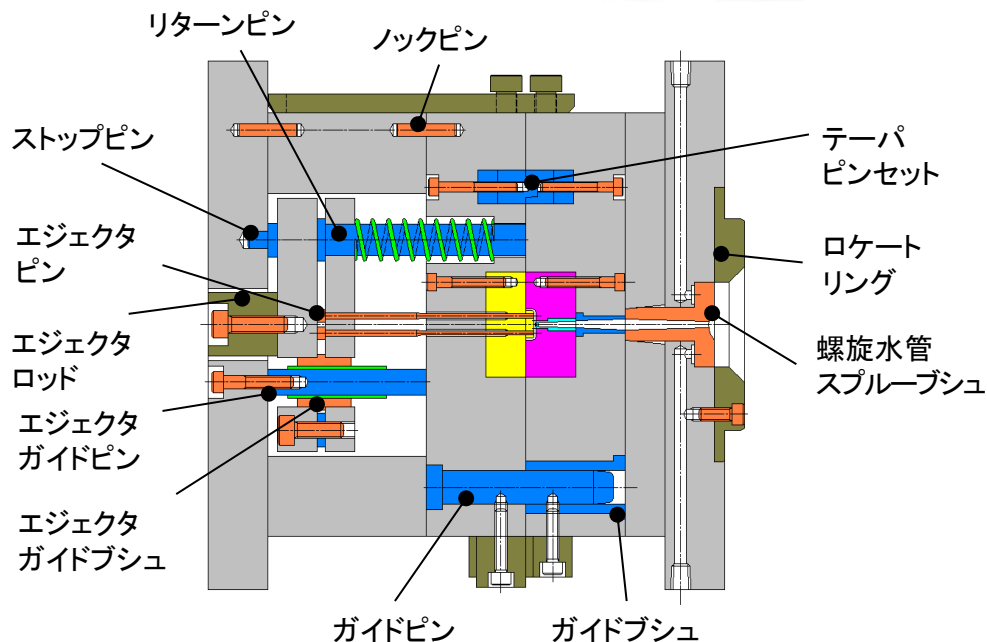
●プラスチック金型用部品について

プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られております。

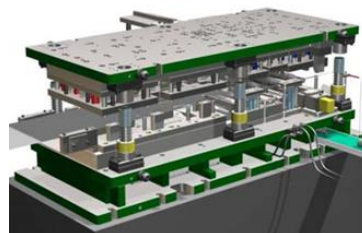
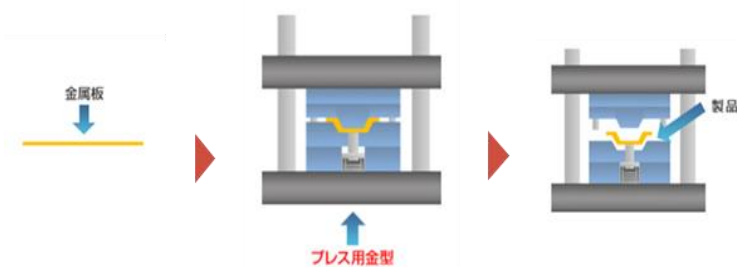
当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

エジェクタピン・・・ 成型品を金型から離し、突き出すための部品

スプルーブシュ・・・ 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品



プレス金型と金型用部品



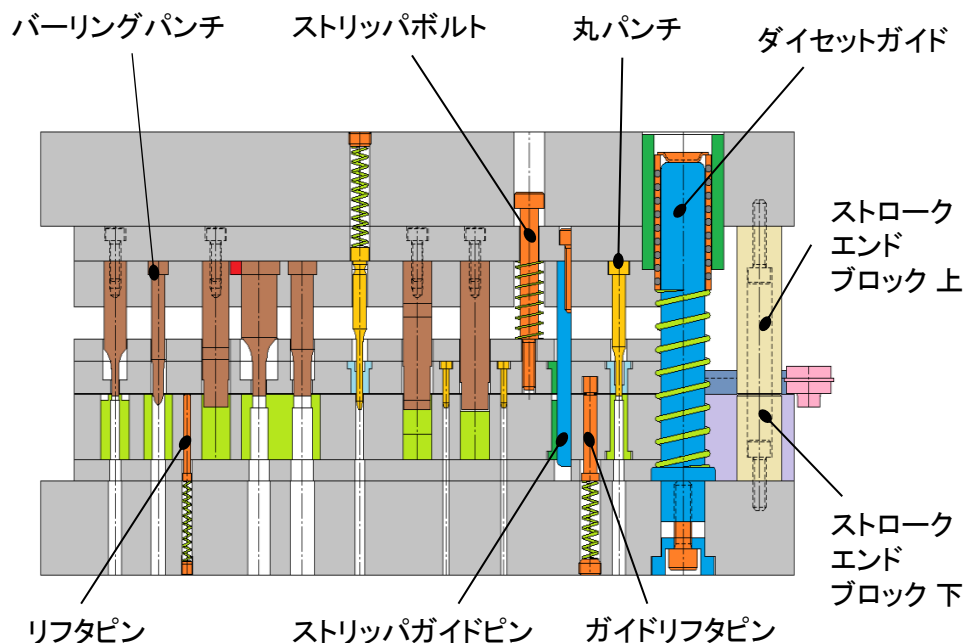
プレス金型



パンチ



ダイセットガイド



●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

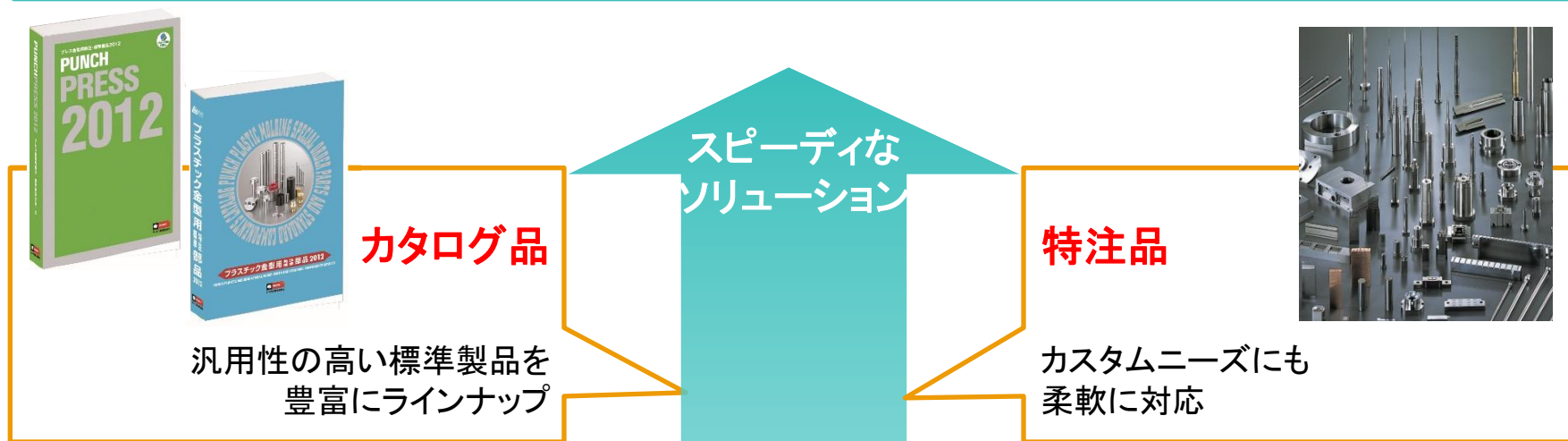
当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用される金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

- パンチ…………… パンチは材料に推しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品
- ダイセットガイド… 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品



パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供



一気通貫の生産体制
1,700台の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制
きめ細かな対応・提案力

高い技術力
創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発

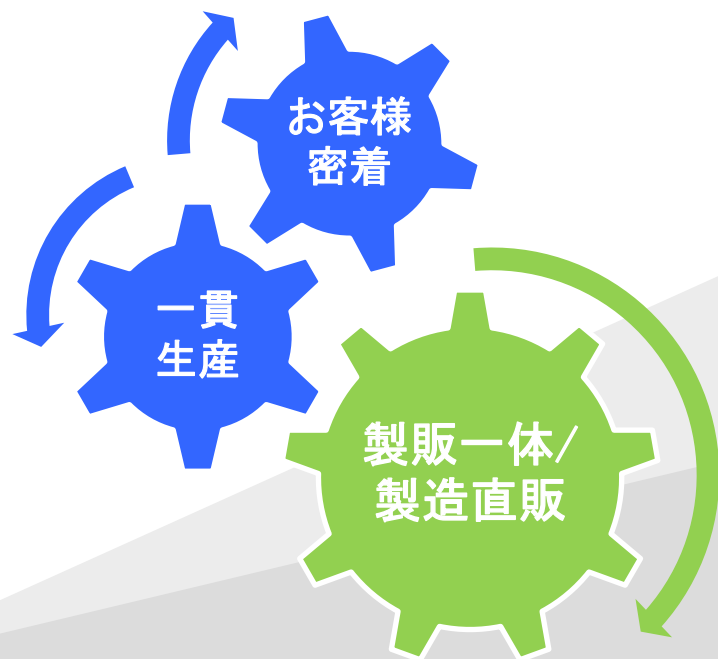


CSR経営と企業ビジョン

CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために
CSR経営を実行しています。

企業ビジョン

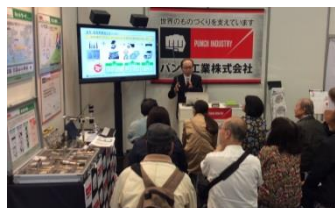
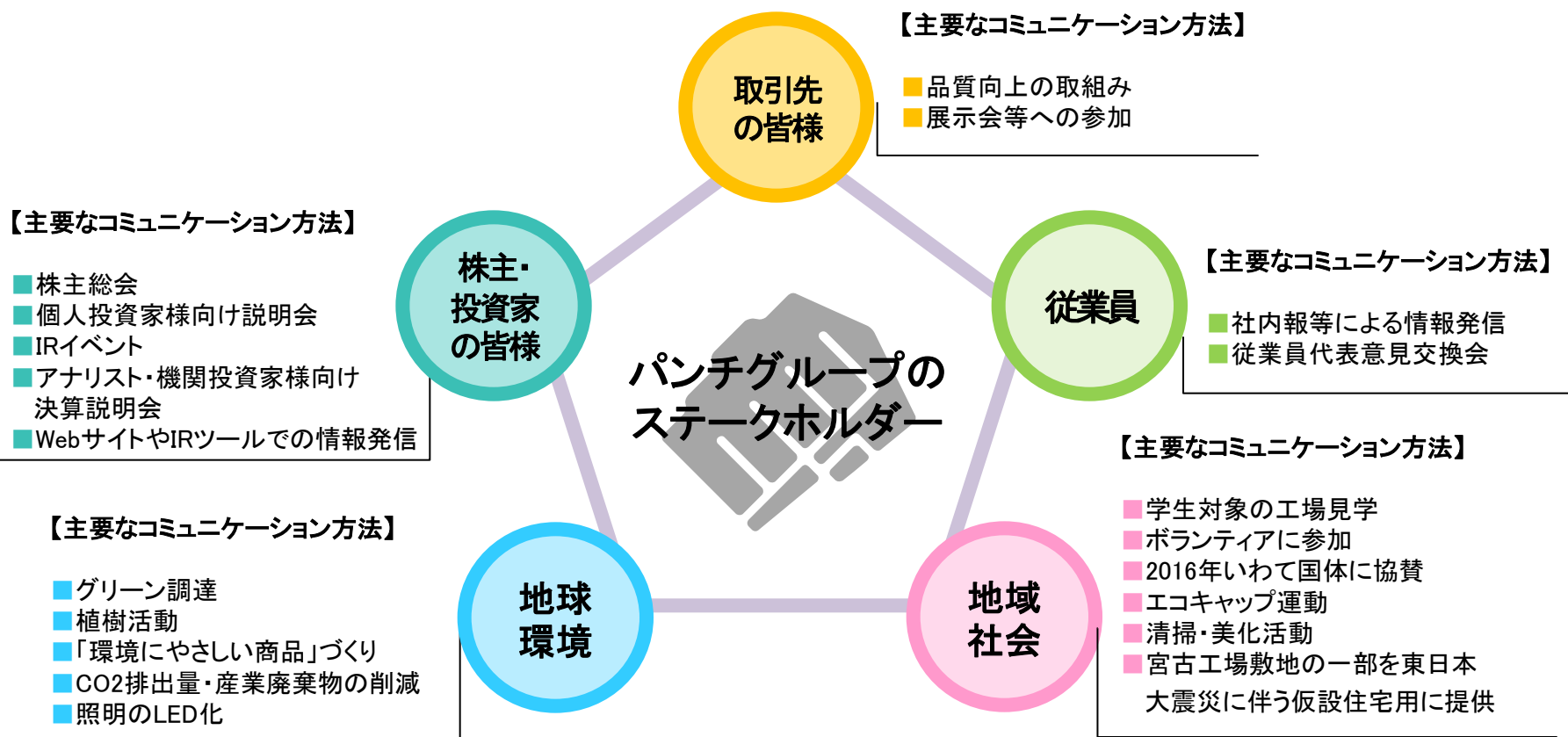


世界のパンチへ

金型部品業界での
トップブランドを確立し
製販一体企業としての
優位性を活かした
高収益企業を目指す



ステークホルダーとのコミュニケーション



IRイベントの様子



個人投資家様向け会社説明会の様子



植樹活動の様子



エコキャップ運動



【環境にやさしい】
マーク

本日は、誠にありがとうございました。



【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 総務部コーポレート課 電話:03-5460-8237 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。